



BE1431F

ベルマン 火災警報発信器

取扱い説明書

1	火災警報発信器について
3	設置方法
5	接続の確認
7	受信器の通知パターン
8	無線周波数の変更
9	故障と思ったら
11	製品仕様

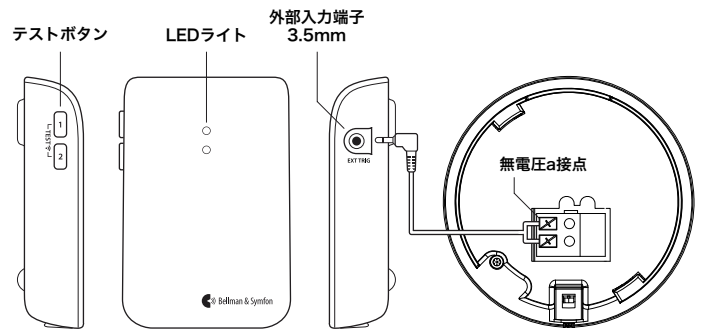
火災警報発信器は、住宅用火災警報器（移報接点付）と有線接続することにより火災の発生を光、振動、音（受信器の機種によります）で通報する機器です。

※ 本マニュアルでは住宅用火災警報器を「住警器」と表します

同梱品

- 火災警報発信器本体
- 住警器との接続用ケーブル ※ 住警器側に付属される場合があります
- 壁留め用ネジ
- 単3リチウム電池x2

1



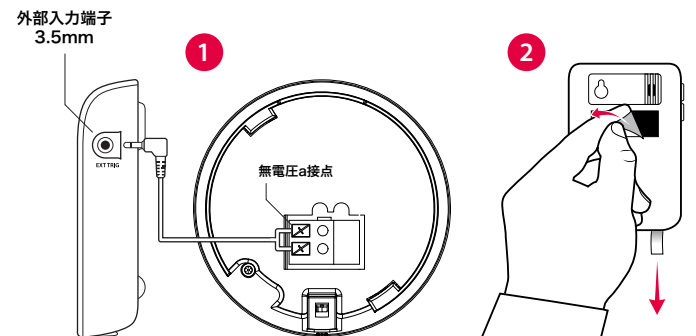
2

設置方法

- 1 住警器の移報接点と火災警報発信器の外部入力端子を付属ケーブルでつなぎます。
- 2 電池の絶縁タブを引き抜きます。裏面の取り付け用両面テープを剥がして火災警報発信器を壁などに貼りつけてください。（同梱の取付ネジでも取付できます。）

※ 他社の移報接点付の住警器をご使用の場合は付属ケーブルでは形状が合わない場合がございます。住警器を購入した販売店へお問い合わせください。

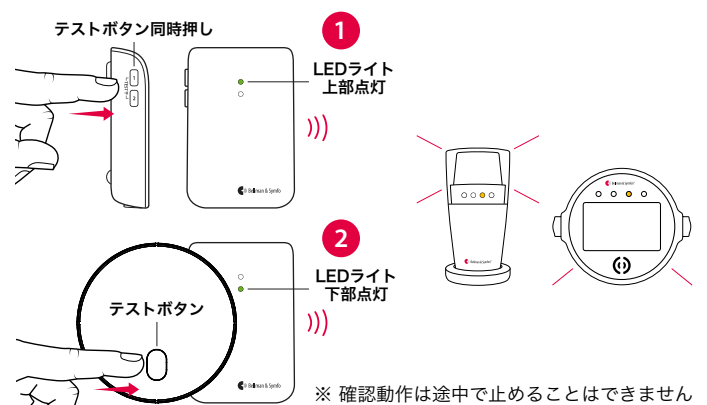
3



4

接続の確認

- 1 火災警報発信器の接続確認
火災警報発信器のテストボタン1、2を同時に押してすぐに離すと上のLEDが点灯し、各受信器が35秒間反応します。
 - 2 住警器の接続確認
住警器のテストボタンを長押しすると下のLEDが点灯し、各受信器が1分30秒間反応します。
※ 住警器のテストボタンは各社異なる場合がございます。住警器の取扱い説明書を参照してください。
- 1 2 の動作が確認できたらシステムは完全に作動しています。

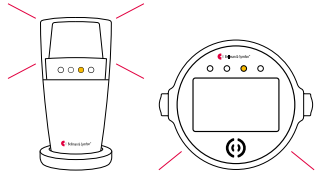


5

6

受信器の通知パターン

無線の到達範囲内にある全ての受信器が「無線周波数」の設定にかかわらず通知します。



LED	フラッシュライト	振動	アラーム音
赤色：常時点滅	点滅	長時間	火災警報音

7

無線周波数の変更

近くでベルマンビジットシステムを使用すると混信します。混信を避けるために無線周波数を変更します。

- 1 火災警報発信器の前面のカバーを外し「RADIO」スイッチを変更します。
- 2 受信器のテストボタンをLEDが緑と黄色に交互に点滅するまで長押しします。
- 3 30秒以内に発信器のテストボタン1と2を同時に押し、受信器の全てのLEDが5回光ると完了です。しばらくすると通常モードに戻ります。

*使用する全ての受信器を同じ周波数に変更する必要があります

8

故障と思ったら

■ LEDがオレンジに点滅する

電池を交換してください。（※1）

■ 発信器のLEDが緑に光るのに受信器が反応しない

- ・発信器の電池、受信器の電源の接続を確認してください。
- ・受信器が電波の届く範囲にあることを確認してください。

■ 発信器が作動していないのに受信器が作動する

近くで別のベルマンビジットシステムが使用されている可能性があります。「周波数の変更」項目を参照してください。

■ 火災警報器が鳴っても火災警報発信器のLEDが光らない

発信器のテストボタン1と2を同時に押します。

発信器のLEDが緑に光る場合：「接続の確認」項目を参照してください。

発信器のLEDが光らない場合：電池を交換してください。

■ テストボタン1と2を同時に押ししてもLEDが光らない

電池を交換してください。（※1）

それでもLEDが光らない場合、購入した販売店に連絡してください。

※1) 電池は単3リチウム電池のみ

9

10

製品仕様

サイズ / 重量	幅65 x 高100 x 厚27mm / 120g
電源	単3リチウム電池 x 2
電力消費	動作時：70mA / 待機時：15 μ A
動作時間	約10年
無線周波数帯	315MHz
無線到達距離	30m以上 ※ 壁や障害物により減衰の可能性あり
無線設定スイッチ	標準で64通り
動作環境	温度：0~35 $^{\circ}$ C / 湿度：15%~90% ※ 室内のみ

※商品の仕様は予告なく変更される場合がございます

11

12